

令和8年度 3市町合同住民公開講座  
～映画『ピア』を観てみんなで語ろう！～  
アンケート集計結果

資料1

n=112 (回収率:52.1%)

当日参加者:239名

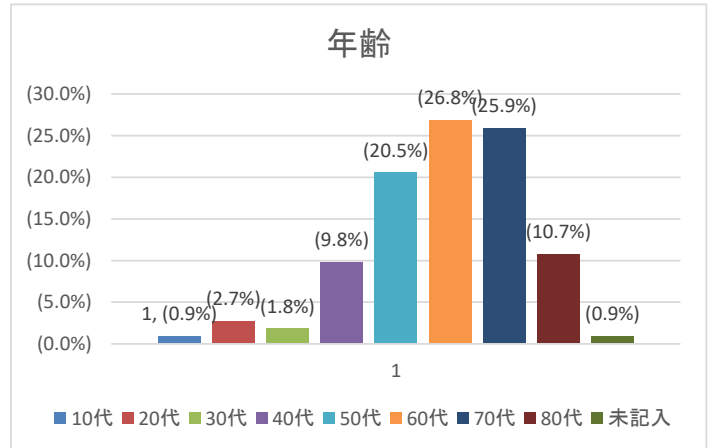
(一般参加者:215名, 関係者:24名)

アンケート回収数:112件

\* 一般参加者を対象に実施

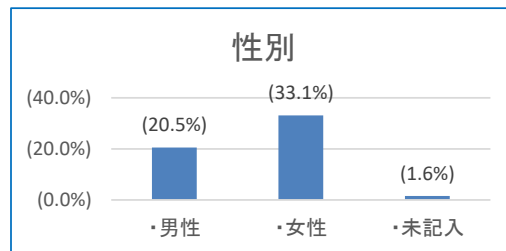
1. 年齢は？

|     |     |          |
|-----|-----|----------|
| 10代 | 1   | (0.9%)   |
| 20代 | 3   | (2.7%)   |
| 30代 | 2   | (1.8%)   |
| 40代 | 11  | (9.8%)   |
| 50代 | 23  | (20.5%)  |
| 60代 | 30  | (26.8%)  |
| 70代 | 29  | (25.9%)  |
| 80代 | 12  | (10.7%)  |
| 未記入 | 1   | (0.9%)   |
|     | 112 | (100.0%) |



2. 性別は？

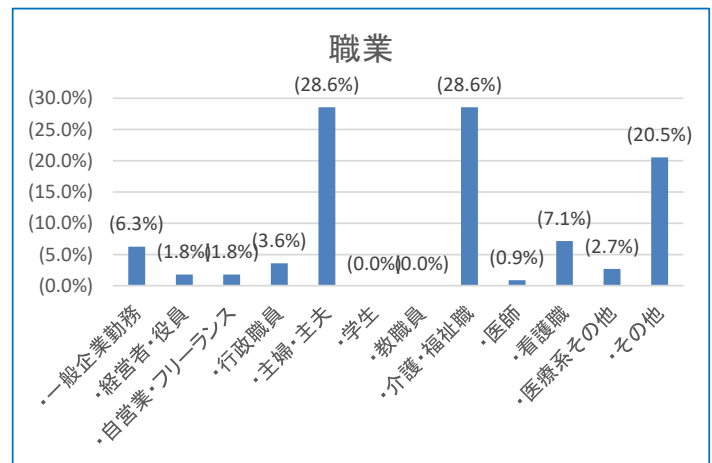
|      |     |          |
|------|-----|----------|
| ・男性  | 23  | (20.5%)  |
| ・女性  | 85  | (33.1%)  |
| ・未記入 | 4   | (1.6%)   |
|      | 112 | (100.0%) |



3. 職業は？

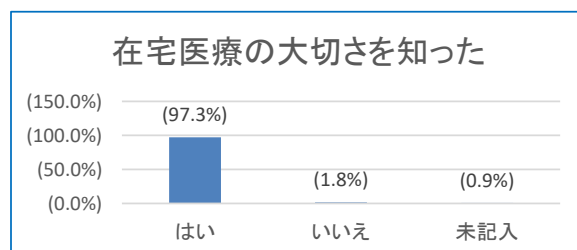
|             |     |          |
|-------------|-----|----------|
| ・一般企業勤務     | 7   | (6.3%)   |
| ・経営者・役員     | 2   | (1.8%)   |
| ・自営業・フリーランス | 2   | (1.8%)   |
| ・行政職員       | 4   | (3.6%)   |
| ・主婦・主夫      | 32  | (28.6%)  |
| ・学生         | 0   | (0.0%)   |
| ・教職員        | 0   | (0.0%)   |
| ・介護・福祉職     | 32  | (28.6%)  |
| ・医師         | 1   | (0.9%)   |
| ・看護職        | 8   | (7.1%)   |
| ・医療系その他     | 3   | (2.7%)   |
| ・その他        | 23  | (20.5%)  |
|             | 114 | (101.8%) |

複数回答(1名)



4. 上映会に参加してみて変化はありましたか？

|               |     |         |          |
|---------------|-----|---------|----------|
| ・在宅医療の大切さを知った |     |         |          |
| はい            | 109 | (97.3%) |          |
| いいえ           | 2   | (1.8%)  |          |
| 未記入           | 1   | (0.9%)  |          |
|               |     | 112     | (100.0%) |



・人生の最期について考えるきっかけになった

|     |     |          |
|-----|-----|----------|
| はい  | 107 | (95.5%)  |
| いいえ | 3   | (2.7%)   |
| 未記入 | 2   | (1.8%)   |
|     | 112 | (100.0%) |

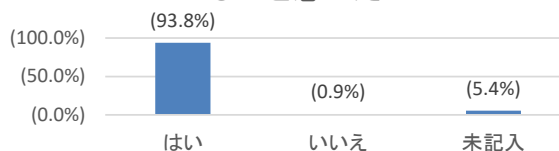
### 人生の最期について考えるきっかけになった



・在宅医療に関わる仕事は素晴らしいと思った

|     |     |          |
|-----|-----|----------|
| はい  | 105 | (93.8%)  |
| いいえ | 1   | (0.9%)   |
| 未記入 | 6   | (5.4%)   |
|     | 112 | (100.0%) |

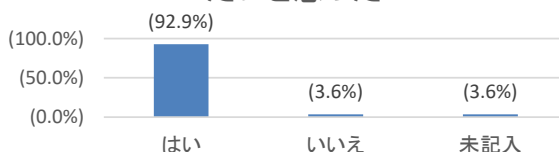
### 在宅医療に関わる仕事は素晴らしいと思った



・在宅医療やその制度をもっと知りたいと思った

|     |     |          |
|-----|-----|----------|
| はい  | 104 | (92.9%)  |
| いいえ | 4   | (3.6%)   |
| 未記入 | 4   | (3.6%)   |
|     | 112 | (100.0%) |

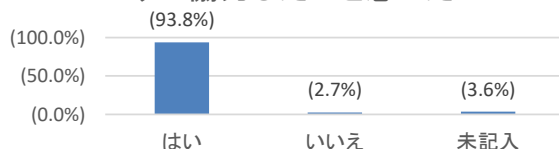
### 在宅医療やその制度をもっと知りたいと思った



・誰もが安心して暮らせるまちづくりに協力したいと思った

|     |     |          |
|-----|-----|----------|
| はい  | 105 | (93.8%)  |
| いいえ | 3   | (2.7%)   |
| 未記入 | 4   | (3.6%)   |
|     | 112 | (100.0%) |

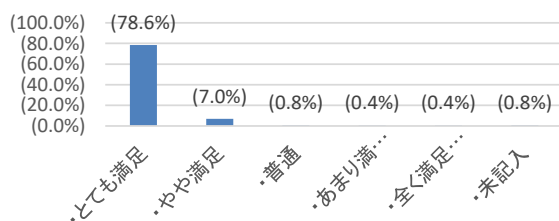
### 誰もが安心して暮らせるまちづくりに協力したいと思った



## 5. 映画の満足度は？

|             |     |          |
|-------------|-----|----------|
| ・とても満足      | 88  | (78.6%)  |
| ・やや満足       | 18  | (7.0%)   |
| ・普通         | 2   | (0.8%)   |
| ・あまり満足していない | 1   | (0.4%)   |
| ・全く満足していない  | 1   | (0.4%)   |
| ・未記入        | 2   | (0.8%)   |
|             | 112 | (100.0%) |

### 映画の満足度



## 6. 映画の感想をぜひ教えてください。

・人と人とのつながりや支え合いの大切さを学びました。相手の気持ちに寄り添い、一人ひとりを大切にすることが大切だと感じました。今後の仕事にも活かし、利用者さんや家族との信頼関係を大切にしていきたいと思いました。(3件)

・医師視点の映画を初めて観たと思います。最近、利用者様の「ありがとう」という言葉に何も思えなくなっていました。この映画を観てもう一度「嬉しい」という気持ちを味わってみたいと思いました。

・地域で連携、他職種の連携の大切さを学びました。私の周りでもこのような取り組みがあれば参加したいと思いました。でも現実には、映画のようにスムーズに行かない事もあるんだと思います。

・多職種連携のそれぞれの職種の事について分かりやすかったと思いました。(3件)

- ・医療、介護のチーム連携の重要性とその啓発をさらに広がっていったらと思いました。
- ・在宅療養で生活する時にどのような職種の人が関わってくれるかがわかりました。
- ・多職種で患者及び家族をチームで支え、本人らしく在宅生活ができた事、素晴らしかったです。
- ・ご家族の気持ちに寄り添う素敵な映画でした。
- ・どのように生きていきたいかのお手伝いをするお仕事であり、色んな機関や家族との関わる中で調整していく立場にあるので、すごく原点に戻るきっかけであったり、自分自身の家族のことと重ねて考えることができ、とてもいい時間になりました。ありがとうございます。
- ・本人が意思決定をする上で、様々な情報を提供し、選んで頂くこと、当たり前の尊厳を本人だけではなく家族の尊厳も守る事を改めて認識できた。個人的に、3年前透析末期で亡くなった母と被せて観て、在宅医療について考えさせられた。母は食べなきゃ治らないから食べる事を求めた、医師は食べたら寿命を縮めるからと。娘としてどうせ治らないなら 食べさせてあげたい、それで死んでもいいと懇願しやっと思えるように出来たときには昏睡状態に。更に家に帰りたいたいと言う母の思いを 仕事を理由に実現しない選択をした自分。コロナ禍で面会も出来ず電話のみで、仕方がない事が多すぎた環境だったと自分に言い聞かせてます。映画を観て、今なら在宅で看取れます。職種、個人関係なく 皆が尊厳を守れ安心して自己決定ができるサービスの提供をしていきたいと思いました。
- ・お客さんに対しての思いのほか、自分がこうなったら…(水野真紀さん)と思いながら見ていました。
- ・昔関わった利用者さんや親戚、家族の事や自分がケアマネや介護員としての関わりを重ねてみてしまい、自然となみだがこぼれていました。想いや関わり方を伝える、他職種で自分達の強みを活かす、いろんな方とつながり一緒に伴走できるっていいなと。自分はバーンアウトしてしまい介護に戻りましたが、抱えすぎずに皆で共有して助け合えてたらもっとよいケアにつながったし、自分もまだ続けられていたかなと思いました。家族だけの時間も描かれていていいなと思いました。他人事じゃないので、もっと多くの方に観ていただきたい映画だと思います。ありがとうございました。
- ・ストーリーが進むにつれて、自然と涙が出てきました。在宅医療の実情に即し、なおかつ登場人物の表情や心情の変化がきめ細やかで丁寧で感激しました。(5件)
- ・なかなか皆が同じ考えで同じ方向は難しいと思うがあの映画の様な世の中になれると良いと思う。
- ・とても勉強になりました。(6件)
- ・素晴らしい映画でした。見た人によって受け止め方は、十人十色だと思うが、感想は一人一つに限らず、多くの受け止めがあることだろうと思います。多くのことが鑑賞すべき。地域医療、地域福祉(高齢者、障害、その他)は幅広くニーズがあるもの。医療、福祉は地域に公平性、平等性が求められます。民間が先導し、行政に予算や執行を頼るべきと思う。弊社従業員をはじめ、私が加入している団体(50,000人規模)で勉強会資料としたいと思う。私は、「経営、厚生関連」の委員会委員長なので、勉強会を有効に主催する立場のため、是非、資料としたい。
- ・理解しやすい内容、小・中・高生でも分かりやすいと思う。
- ・在宅介護がみんなこの映画のように気持ちよく受けられるようになるといいなと思いました。
- ・その人らしく、尊厳を持って人生の最期を迎えられるように患者・医師・ヘルパー・看護師すべての尊厳を表して
- ・身近に起こり得る出来事、自身の職務に引き合わせて鑑賞しました。身につまされると共に、あー、あるある、と、共感していました。
- ・医師とケアマネが利用者様宅で口論するシーンが不快だった。実際の現場ではあり得ない。
- ・今後、自分が日々の生活のなかで、どう「生きたい」か、考えさせられました。(2件)
- ・在宅医療との向き合い方、自身のケアマネジメントについて見つめなおすことができました。(2件)
- ・13年前に父を腎臓がんで亡くしました。その時医師からは病名は知らされましたがステージが何か余命はどのくらいかを知らされていなく私と母は手術して悪い所を取ると良くなると思っていました。父は手術の後も抗がん剤を定期的に行っていました。私も母も抗がん剤をやっていると良くなると思っていました。しかし抗がん剤の副作用で食欲も体調も悪くなり、体力も無くなってきてかなり痩せてしまいました。私も無知だったので今思うと父に痛い思いと辛く苦しい思いしかさせていなかったの思い出す度に申し訳ない気持ちでいっぱいになります。在宅ケアや緩和ケアのこともっと早く知っていれば父の最後の日々は違っていました。今回の映画も知る機会となりました。知って大事ですね。父にはもうしわけないのですが、父での経験は大事な経験となりました。そしてまた考えさせられる映画となり、上映してくださってことに感謝してます。良い映画をありがとうございました。
- ・升さんの車いす姿には一瞬で私の父が重くなりました。それほどとても忠実に表現されていて素晴らしかったです。映画を通して在宅医療や介護のあり方を、あらためて思い直すことができました。
- ・訪問看護時代を懐かしく思いました。
- ・感動しました。コロナ禍で母を亡くし病院に面会も出来なかったし最期、看取ることが出来なかったのが、悔いが残ってます。母に会いたくなりました。

・在宅介護は、とても大変だと思っていたが、映画のような仲間(ピア)だったらとてもすばらしいことだと思った。金銭的にどうなのかがちょっと心配だが・・。

・涙が出ました。だれもが通る道。私も今、認知症です。いろいろと考えさせられました。老も若も関係ない死。

・うちも在宅で父を看取りましたが、人がお手伝いしてくれる方が数分来て帰る。ドクターも1、2分程度。映画のような場面が信じられない感じ。現実とは違った。

・笑うということが幸せに繋がると思っている。妻よりは早く逝きたいと思っているが、妻が最後に行きたい所は、福山雅治のライブというのは、さすがに無理があるかと・・・。

・初心を思い出しました。人の一生を、その人らしく生きるための微力ながらサポートを、続けていきたいと思えます。

・とても感動しました。おそらく、多くの方が感動されていたと思います。俳優さんも良かったです。映画を鑑賞しながら、色々なことを思い出し、良い機会にもなりました。ありがとうございました。(8件)

・兄弟姉を見送りましたので、その時を思い出しました。感動です。ありがとうございました。

・介護って親の事と思っていたが独居老人としての自分の事として考えるテーマになった。父の時は病院で母の在宅医療でした。あれでよかったのか！？後悔は残ってます。

・父が病院で入院している時、自宅に帰りたと言っていたが叶えてやれなかったのが心残りでした。

・義理の妹が在宅で看取った経験があり、その時を思い出しました。

・とても感動！自分の親達の時の事を思い出しもっとしてあげられる事があったのではないかと思います。

・病院看護師だったので色々思いました。

・家族で支えたかみさんの5年に渡る闘病、泣き、笑い、怒り、悲しみの日々、人生はゴールを目指すレースではない。不治の病でも大切な家族、地域、そこに人生がある。映画に感動、泣けました。皆の支えが大切な社会です。

・在宅医療が一般的にできたらいいなと思いました。

・よく出来た理想。でも目指していかないと！

・ケアマネの言葉が真実である現場だと思います。息子も同じ仕事してますが・・頑張ってもらいたいとつくづく思いました。

・終末期のいろいろを考えさせられるいいお話でした。ありがとうございました。

・こんな手厚い在宅医療・看護・介護ができれば素晴らしいけど現実には無理かな。どこも人材不足だし、でも近づけたらいいね。

・理想の世界です。主人をガンで見送り自分もガンですが、ガンの末期は、自宅では無理です。モルヒネコントロールや幻覚がひどいので。

・身に迫るものを感じた。医療・ケアの「ピア」のスタッフが大切なのは充分理解するが担う人材の確保が課題(人員、待遇など)

・私も両親を介護した経験し、映画を観た後は自分事として考える機会になりました。父の時は病院で、母の時は在宅で先生始めお世話になりました。

・映画を観て両親の介護を思い出していた。在宅介護で訪問診療などあって完全では無かったけど参考になった。

・癌患者の抱える不安や悩み、その家族の抱える悩みや苦悩がリアルに描かれ、とても迫力がありました。またそのような家族を支える方々の思いやりや努力にも感動しました。自分の事として十分に考える必要性を感じました。

・生きることの尊さをいただきました。

・在宅介護の位置づけが今一分からない。

・ピアの深い意味を知る事ができた。母・姉にもこんなケアがほしかった。どのような場所にも「人」「心」「深い愛情が必要」と心から感じます。

・在宅看護は大変良いと思いますが、一人者は家で看取ってくれる人がいない。

・泣きました。泣きながら考えさせられることがありました。学びがありました。私も家族を支えながら生きていけると思えます。

## 7. 北原さま・岡田先生のトークセッションの感想やメッセージをご記入ください。。

・今から約23年前、北原佐和子様出演の通称「ボタバラ」に熱中していた頃、北美原クリニックを開院される前の岡田先生の勤務されていた函館市内の病院の薬剤科で助手をしておりまして、今回のトークセッションに不思議な縁を感じました。トークセッションを通して、明日からの仕事へのモチベーションにもつながりましたし、利用者さんの命・生活・人生に少しでも寄り添うことのできる訪問看護を目指したいです。

・先生のお話で各職業の内容がわかりました。自分でもわかっていましたが再確認した時間でした。

・北原さん美しいです。姿勢よいです。岡田先生トーク楽しいです。北原さん誠実な気持ち伝わりました。

・何といってもあったかいトークで本当にすてきな時間でした。ありがとうございました。

・岡田先生はユーモアがあって進行が上手だった。北原さんは、誠実でやわらかい柔和な感じがして親しみやすかった。周りの人々の信頼がとても大事だと分かった。まずは心。

・在宅医療については岡田先生から聞くことができて、とてもためになりました。北原佐和子さんの生の声が聞けて、とても嬉しかったです。

・母の時は、在宅医療で訪問診療を受けました。では、私の時には「もしもノート」を参考にしようと考え準備しようと思います。

・とても興味深く聴くことができました。勉強になりました。ケアマネ頑張ってください。ありがとうございました。

・函館が連携支援の活動が進んでいると聞いてたのもしく思いました。映画のような対応がうまくいくには、大変だと思います。少しずつでもよくなれば安心して生活でき、一人暮らしや病気の人に希望がもてると思います。

・北原さんのケアマネになろうと思った経緯や看護師になったなどの話に感動しました。自分ももつともつと頑張らねばと思いました。きれいな声でとても聞きやすく分かりやすかったです。

・北原さんと同年代ですが、資格を取り福祉の仕事をしているお話は、とても感心しました。家族対応も参考になりました。

・私の娘は埼玉で看護師をしています。現在、50才です。30代半ばで若い人たちに交じってとても楽しい学生生活をしたみたいです。私に似ず勉強が好きで、ケアマネジャーの資格を旦那様と一緒に1回で取ったそうです。ちょっと自慢です。今はケアマネジャーとして携わっていないみたいですが、これから先、役に立てたら良いと思います。在宅介護もっと利用できるようになると良いと思います。

・北原さんは芸能人をやりながら看護師の資格を取得し更にはケアマネジャーを取得するなど介護・看護に対してすごい思い入れがある方だと思いました。介護を実践していることに対して素晴らしいと思いました。

・とてもわかりやすいお話でした。今後の事をいろいろ考えるいい機会となりました。ありがとうございました。北原さん、ネットフリックスで「牡丹と薔薇」を最近、観たばかりでお目にかかれてうれしかったです。これからもお仕事がんばってください。

・北原さんの56歳で資格を取って今に至っている姿が立派だと思います。女優業も大好きなので、テレビで拝見したいので出演してほしいです。頑張ってください。

・とても気さくなお二人で勉強になりました！函館・道南は充実しているのだとはじめて知り、良いところに住んでいて良かったと感じました。これから使うこともあるかと思いましたので、来て良かったです。かかりつけ医、北美原クリニックにしようかと思いました！笑(現在、あるのですが・・・笑)北原さんもおとても綺麗で色々やっています、感動でした。体、壊さぬようこれからもがんばってください！

・とても良かったです。かけあい良かったです勉強になりました。(3件)

・すごい努力をされ人生を過ごされている素晴らしい方だと初めて知りました。「認知症の事例に関してのお話では、夫婦どちらも考えている」という事で、1人1人と向かい合い傾聴している。臓器提供の話の切り口にしたら沢山の話しをしたという、今後について考え合うということは素敵だし大切な事だとつくづく感じました。訪問診療でも信頼関係を「言葉を落とし込める」信頼関係(自分で家族で)から退院のタイミング(連携の大切さ)を沢山勉強になりました。かかりつけの薬局は私もいて本当に先生と同じくらい前段階でのすてきな出会いがあり、本当に大切と感じます。不安の表情からその後の変化により、やりがいを感じるということに関するお話では、本当ですね。私は自閉症の方の移動支援での関わりですが、人との心のかよいは大切にしたいです。

・医師は病院でも在宅でも周りのスタッフに意見を求める。意見・情報に耳を傾ける人であってほしい。もちろん患者さんを一番に大切にしたいから！！

・今日はありがとうございました。色々な話を聞いて良かったです。私は介護をしており10年経ちます。資格はありません。受からないのです。でも今年は勉強をがんばり、今回の試験ではなく、その次の試験で合格したいです。お二人の話を聞いてジーンとなったので色んな意味で頑張りたいです。

・ケアマネジャーの大変さを改めて理解しました。介護を必要とされる方とケアマネジャーとの信頼関係と築き上げるまで根気よく関わっていく繋がりで必要であると強く感じました。私は、現在民生・児童委員をやっておりませんが、認知症になっておられる方とケアマネジャーの対応を観て大変であると感じました。福祉関係の方や介護施設の方と連携を密にしながら活動することが大切であると思いました。

・トーク中、「負けたくない」と北原様が仰っていました。私は24歳ですが、20代の年上に対して「負けたくない」と常に思っています介護とは何か、医療の大切さを理解しながら負けまいとがんばりたいと思えました。勝ち負けではないですが、自分なりに見つけていきたいです。岡田先生もすばらしい進行でした。とても身になりました。岡田先生のトークが上手すぎました。トークを見習いたいです。

・在宅のケアが必要な方、困りごとを解決するべくケアの輪につなげていく(アセスメントを要する)利用者を取り巻く環境も支援につなげていくこと(主治医意見書)利用者、家族の要望、危険回避、一番近くにいる家族の理解がない？調整の場を作るのも大変ですね。実の両親にでもこれからの希望をとるのは難しいものだなと感じた。悔いのない看取りはないけど、やれることをやっていきたい。普段の言動の中より、本心の希望を聞き取ることもできそうです。ありがとうございます。

・対応する利用者との各職種の間信頼関係の大切さをとても感じられました。地域連携の中での支え合い。

・北原さんのお話は、なるほどと思うことが多く、また、もっとお話を聞きたいと思うほど楽しく勉強になり、本日の参加をして良かったと思えました。

・岡田先生、話のまとめ方がうまい。人間的に奥の深さ、器の大きさを感じた。

・お疲れさまでした。親の介護をしていた時期があり、これからも続くことなのでとても興味深く聞くことができました。北原佐和子さんのようなケアマネさんに出会えたらいいなと思いました。岡田先生もとてもよい先生で嬉しかったです。岡田先生のような医者が増えてくれる事を祈っています。

・映画を観ましてまさしく、その通りの事だと思いました。介護に携わり、色々な方達を観てきました。その通りだと振り返りながら感じています。ありがとうございます。

・自分のかかりつけ医に在宅医療のかかわりを聞いてみたいです。

・ケアマネジャーの仕事の量が多くて大変な仕事だと改めて思った。

・お話が分かりやすかったです。お二人のファンになりました。(2件)

・美しい女優でいらっしゃる北原さん、素晴らしい方でした。努力家で頑張り屋さんでした。たくさん資格を持ち、介護される側の人間らしさ、人格を保つことに目を配っているあたかな遂行者でした。優しい話し方をされる中に強い芯を見せてもらい感動しました。

岡田先生、ひょうひょうとしていてユーモアを散りばめた話し方をされるこれまた、あたかなお人柄とお見受けしました。在宅医療をやられている先生のような方がおられて心強いと思います。(私達は80代の老夫婦です) 函館での取り組みの芽のようなものも聞けました。

お二人のトークは、これからの指針となります。今、通院している(内科、皮膚科、歯科、眼科)4つの病院に通えなくなる時が来ると思いますので……。

・楽しかった。来て良かった。ありがとうございました。

・北原佐和子さん、介護のお仕事をしているとは思いませんでした。素晴らしいです。これからも頑張ってください。努力が結果を生む。がんばれーさわこさん。

・大変参考になりありがとうございます。迷いが少し減になりました。

・北原佐和子さんのお話が現実的でもっと聞きたいなと思いました。質を高めるために、自分のために、お客さんのために、自分のできることをやっていくことは大切だと改めて感じました。 ありがとうございます。(2件)

・上映後、岡田先生やさわこさんのリアルな話を聞くことができてよかったです。心強いシステムや支えてくれる方がたくさんいる函館なら希望すればお家での最後も叶えられるのかなと思いました。

・この度、このような講座を開いていただきありがとうございました。岡田先生のお話を聞いて、私も機会が出来たら受診してみたいと思いました。きちんと症状など話を聞いてくれそうだったからです。今まで特に大きな病気はした事無いですが、風邪程度で受診すると他院では結構、話し聞いてくれなくて、一方的にこの薬出すねって言われて終わる事が多かったからです。北原佐和子さんのお話しも、身近に感じられたし、50代で看護師の資格を取られたとの事で、私もまだまだやれるんだという気持ちになりました。最近、Netflixで『牡丹と薔薇』見終わってばかりだったので、お会いする事が出来て嬉しかったです。本当は『ふきこ！』って呼びたかったけど我慢しました。

・岡田先生、北原ケアマネジャー様、本日は大変ありがとうございました。北原マネージャーさんと言葉を交わせた大変光栄でした。女優業をしながら、ヘルパーやケアマネ、特に准看護師の資格まで取得するとはすばらしいと思いました。私も長くケアマネをしていて在宅医療や看取りの場面に実際に立ち会った事例がありました。15年以上前に担当した利用者様で、PEG-J、尿道カテーテル、在宅酸素、気管切開と言った医療を受けており、6年間もの間、在宅介護していたというケースでした。幸いにも同居家族に介護士がいたこともあり、支援体制はしっかりされていました。その時は訪問介護、訪問入浴、訪問看護、特殊寝台やリクライニング車いすのレンタル等ははじめ、訪問診療も受けておられました。PEG-Jの交換だけ通院で行い、ストレッチャーを搭載した介護タクシーを利用していました。自分は介護士上りのケアマネの為、医療知識は乏しかったのですが、このケースを通じて、訪問看護師や訪問診療医からたくさんの事を学ばせていただき、今につながっています。その当時の訪問診療医が実は岡田先生でした。あの時は大変お世話になりました。また、このような機会がありましたら、参加したいと考えております。岡田先生、本日は本当にお疲れさまでした。北原マネージャー様、遠くからありがとうございました。時間の許す限り、函館を満喫していただきます。

## 8. 上映会主催者へメッセージをお願いします。

- ・素晴らしい映画をありがとうございました。
- ・このような機会を作ってくださいありがとうございました。多くの人に観てほしいと思った。刺激になりました。この様な素晴らしい上映が一人でも多くの方々へ見ていただける様、より積極的にPRしてほしいです。(9件)
- ・お疲れ様です。前回、オレンジ・ランプを見ました。全てみられるのならば、また行きたいです。
- ・準備から当日の運営まで、ありがとうございました。お疲れさまでした。(12件)
- ・これから多くの方が学べる機会を作っていただけると嬉しいです。
- ・池田市長のご挨拶がとても聴き心地が良くスーッと入ってくる内容で、佐和子さんと先生の掛け合いも笑いがある中で大事なポイントを教えて下さり、谷口係長の暖かい雰囲気でも暖かで穏やかで勉強させて頂く時間になりました。ありがとうございました 佐和子さん、また来函してください
- ・なかなかこの映画だけタイミングあわず観れずにいましたが、今回観れてとてもよかったです。関わり方、仲間、ピアって感じる事ができました。自分に何ができるかを考える日々。距離感と仲間で支える。大切なメッセージがたくさんりばめられていた映画だったなと思いました。叔母が、母が癌とたたかった姿とかみてたので、ほんと涙がとまらずでした。貴重な機会をありがとうございました。
- ・すばらしい上映会へ参加させていただき、ありがとうございました。思いっきり泣くのは気持ちがいいですね。
- ・在宅を支える人達のことがよくわかりました。ちょっとした笑いもあり、リラックスして観れました。
- ・沢山周知して、参加者が増えればいいと思います。
- ・映画良かったです。全ての作品をぜひ見たいです。(3件)
- ・自身に引き合わせて観る事が出来ました。ありがとうございます。また来年も、参加させて頂きたいと思っております。
- ・客席側の照明をもっと落とした方が良いと思った。画面が暗くてとても見辛かった。ホラー映画のようだった。
- ・軽い気持ちで応募しましたが、とても充実したものでした。今後も楽しみです。
- ・良い映画、考えらる映画、介護・在宅・緩和ケアに携わる方々の大変さなどを知れた映画でした。日々現場で携わって働く方々に感謝します。そのことも知れたので主催してくださった方々ありがとうございました、
- ・介護の仕事を具体的に見るきっかけをどんどん見せてください。
- ・これからの参考になりました。
- ・もう少し笑えるシーンがあると良いと思った。涙ばかりでは見ていると気持ちが暗くなってしまう気がする。鼻水も多く出過ぎた。マスクが受け止めてくれた。
- ・出会いに感謝します。
- ・企画、今日の進行全て完璧だと思いました。お疲れ様でした。
- ・とても感動しました。すてきな機会を与えていただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。是非、これからも、このような取り組みを続けていただければと思います。
- ・聴覚障がい者に対して映画に字幕があるのは良かったのですが、挨拶やトークセッションはわからないので手話通訳をつけて欲しい。
- ・映画は介護や医療に携わっていない方にもわかりやすく説明できると思います。
- ・丁寧な映画作だったと感じました。色々知らない事を知りました。どうもありがとうございました。
- ・とっても良かったです。介護に携わっているので看取りは難しいです。
- ・思い切って外出は良かった。ありがとうございました。(2件)
- ・これからも、頑張ってください。
- ・福祉に関する皆さまにぜひ観ていただきたいです。とても良い場を設けて下さりありがとうございました。良いですね！
- ・ピアという言葉は初めて聞きました。ピアの皆さんに支えられ最期を迎えられたら幸せだと感じました。
- ・国や行政と市民のチームワーク(ピア)
- ・もっともっと大変な毎日とは思いますが。
- ・ありがとうございました。高校生に観てもらいたいですね。在宅医療に関して初めて知る事が沢山ありました。
- ・北斗市の会場で良かったです。

- ・素晴らしい場を提供いただき、有難うございました。次回も期待しています。(3件)
- ・貴重な時間をありがとうございます。今度は自分事としてもしもノートを熟読します。
- ・大変有意義な機会を準備してくれた主催者やスタッフ、トークの北原さん、岡田さんにも感謝を申し上げたいと思います。
- ・上映できる料金であれば一層の啓発のための機会として町内会(ミニ地域社会)などで開催されてるといいと思います。
- ・良い企画を考えてくださいました。高齢になった私達には、今やることがいっぱいあります。笑顔で接しながら1つずつ1日ずつ過ごしていきたいです。